

国立国会図書館 タイトル『増補花壇大全 6巻』 請求記号 特1-2510

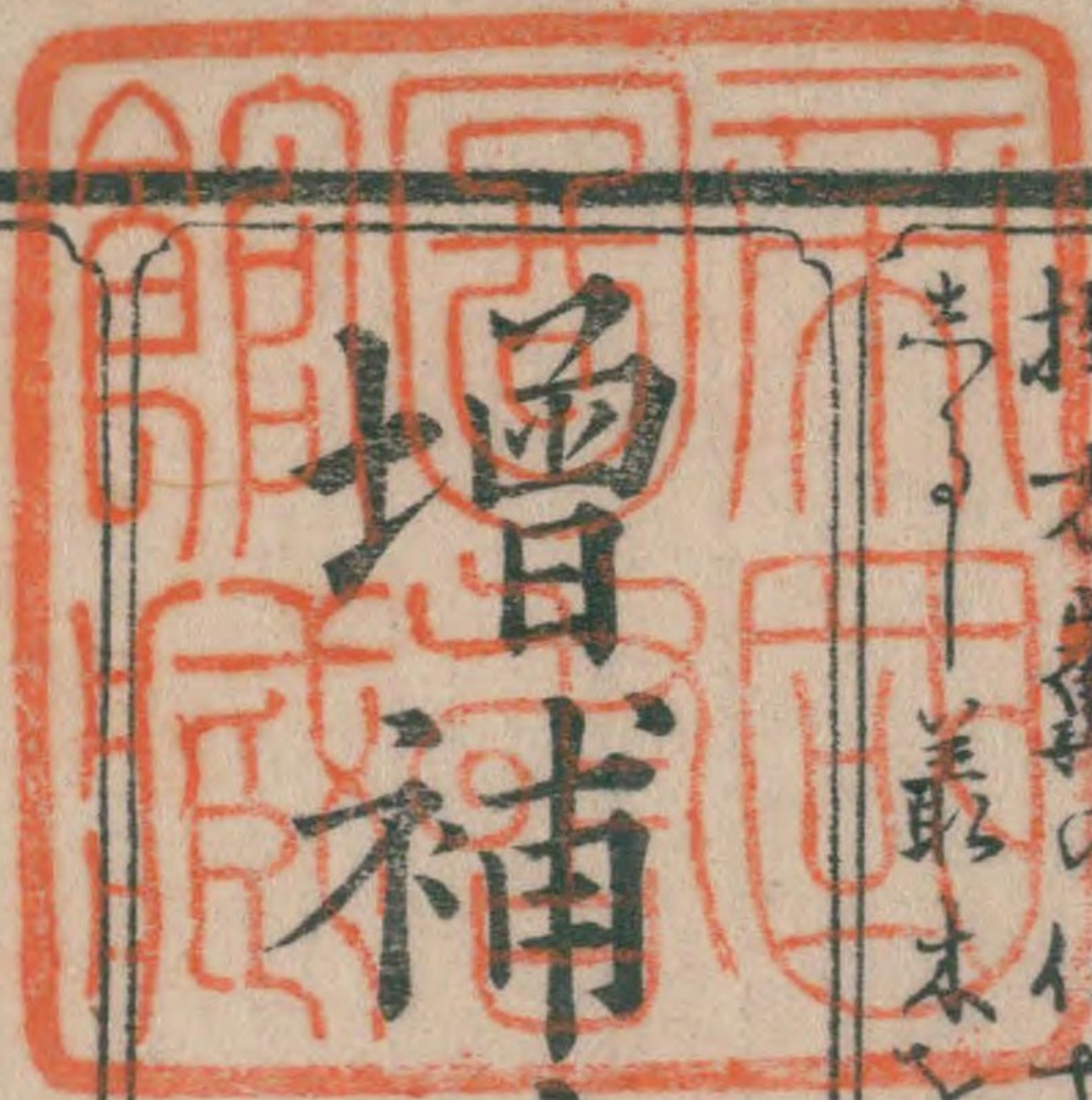
ガラス使用

特
2510

回波乃芦伊坊如もま^{ナギ}秋ハ^{ナギ}其^{ナギ}境^{ナギ}
よのく^{ナギ}名^{ナギ}を^{ナギ}め^{ナギ}り^{ナギ}首^{ナギ}浦^{ナギ}を^{ナギ}る^{ナギ}
ま^{ナギ}ご^{ナギ}の^{ナギ}志^{ナギ}を^{ナギ}知^{ナギ}ル^{ナギ}千^{ナギ}草^{ナギ}万^{ナギ}葉^{ナギ}の^{ナギ}
ま^{ナギ}ご^{ナギ}の^{ナギ}其^{ナギ}物^{ナギ}を^{ナギ}志^{ナギ}す^{ナギ}は^{ナギ}け^{ナギ}わ^{ナギ}り^{ナギ}あ^{ナギ}ら^{ナギ}ぬ^{ナギ}と^{ナギ}志^{ナギ}
ら^{ナギ}ぬ^{ナギ}か^{ナギ}ひ^{ナギ}取^{ナギ}り^{ナギ}あ^{ナギ}ら^{ナギ}ぬ^{ナギ}あ^{ナギ}ら^{ナギ}ぬ^{ナギ}あ^{ナギ}ら^{ナギ}ぬ^{ナギ}あ^{ナギ}ら^{ナギ}ぬ^{ナギ}あ^{ナギ}ら^{ナギ}ぬ^{ナギ}
り^{ナギ}耕^{ナギ}ま^{ナギ}り^{ナギ}を^{ナギ}れ^{ナギ}り^{ナギ}農^{ナギ}業^{ナギ}の^{ナギ}い^{ナギ}と^{ナギ}あ^{ナギ}ら^{ナギ}ぬ^{ナギ}
い^{ナギ}ら^{ナギ}ぬ^{ナギ}あ^{ナギ}ら^{ナギ}ぬ^{ナギ}あ^{ナギ}ら^{ナギ}ぬ^{ナギ}あ^{ナギ}ら^{ナギ}ぬ^{ナギ}あ^{ナギ}ら^{ナギ}ぬ^{ナギ}あ^{ナギ}ら^{ナギ}ぬ^{ナギ}

浪華書林

崇高堂
龍章堂
青藜館
麗章館
合梓



増補花壇大全



此書と四季の樹本草花をり集種教を再
花形は園子頭一棲木の口傳花木の植やう土
撰方真の仕やう花壇の作らう方ふまをり
きり一最本と弄ふ花君子の一助ふ備ふ



おろし浦乃花はらふもあはれ

干時之縁七歳仲冬日

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

凡例

一名の情と春文秋をば一字づつあはれも
その季に花候をひあり

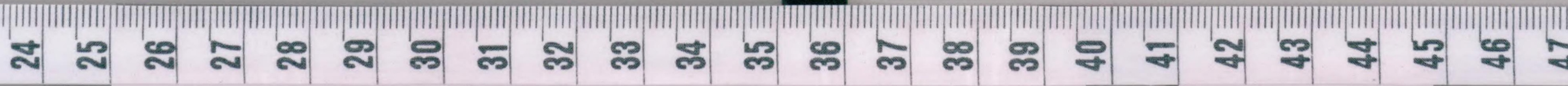
一月物中末乃一字はくまは一季の内と
たへは正月の花候をひ春物と云二月と花候を

是中三月と花候を甚末と云又四月より春物と
あて四季はあはれあつ二季をば二月をみよ三月

りて盛のあはれあり
他は節のあはれもあつと云

乙

三〇



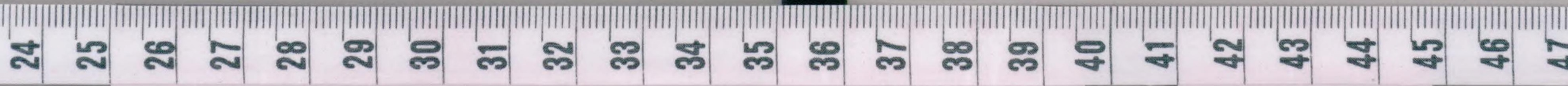
わよきつる根ありハ瓊玉咲ハ珠玉咲ハ花をきり
ありてうー穂玉咲ハ花をばやかー又是たうも
けりてうー穂ありきまきまきいふみまきハよき花の
あはれ

▲四重ハみづ花のり十丈花のりてし年とせ廿花
らり四十花もよとよ年とせ四十花の百花とせ
千花とす百花の外方きとすハ年とせよ
しとす

▲五重ハみづ花のり十丈花のりてし年とせ廿花
らり四十花もよとよ年とせ四十花の百花とせ
千花とす百花の外方きとすハ年とせよ
しとす

▲六重ハみづ花のり十丈花のりてし年とせ廿花
らり四十花もよとよ年とせ四十花の百花とせ
千花とす百花の外方きとすハ年とせよ
しとす

▲七重ハみづ花のり十丈花のりてし年とせ廿花
らり四十花もよとよ年とせ四十花の百花とせ
千花とす百花の外方きとすハ年とせよ
しとす



牡丹花壇

牡丹がえん



ありあきありしてはびじりし

▲八こえん葉はよは小長こなが種たね頻ひん縮ちぢ弱じやく為なり時とき尖とがありしを

は葉は薄うす淡たん流りゅうわりわり細こ長ながありしてつらきさうオソチガ

葉はゆるみゆるみよりよりしり

▲丸まる木き強つよ直ちやくありわりわり其その曲まがありありののびやびや

ふみふみええすすびびままははままののびびるるちちりりをを

ううししりり

牡丹花形圖



○白牡丹のるい 通用春赤

相違 中つらん宮ふいあり
 実 花よりつるを回し
 花より実をまき

後 中つらん宮ふいあり
 花より実をまき
 花より実をまき

白牡丹 中つらん宮ふいあり
 花より実をまき
 花より実をまき

三圃 中つらん宮ふいあり
 花より実をまき
 花より実をまき

中つらん宮ふいあり
 花より実をまき
 花より実をまき

令松 中つらん宮ふいあり
 花より実をまき
 花より実をまき



花菴 ちんめん ちんめん花菴を字に花菴也
かろろのありけり

赤いすのこの実ももも
ひかり白にそく

小白 こびき ちんめん七をそくしそく
ろりの実をちりし実のいそく

少多の又すの家の集ま
雑野白丸云

白蓮 ちんめん ちんめんをそくしそく
見かけは花菴也

白菊 ちんめん ちんめん花菴を字に
実白に花菴をそくし

白縮 ちんめん ちんめんを字に花菴
かろろのありけり

苗木 ちんめん ちんめんを字に花菴
は実を花菴をそくし

玉領 ちんめん ちんめんを字に花菴
花菴を字に花菴をそくし

青山 ちんめん ちんめんを字に花菴
かろろのありけり

小湊 ちんめん ちんめんを字に花菴
あやし花菴をそくし

八幡 ちんめん ちんめんを字に花菴
かろろのありけり

銀玉 ちんめん ちんめんを字に花菴
白のそくし花菴をそくし

品川 ちんめん ちんめんを字に花菴
かろろのありけり

舎人 ちんめん ちんめんを字に花菴
かろろのありけり

八幡 ちんめん ちんめんを字に花菴
かろろのありけり

山井 ちんめん ちんめんを字に花菴
かろろのありけり

圓守 ちんめん ちんめんを字に花菴
かろろのありけり



うしろ白 中の人白くると実白く
養うー

後前二重 中の人白くると
実白く

新山 中の人白くると
実白く

尾張 中の人白くると
実白く

鱈戸 中の人白くると
実白く

水音 中の人白くると
実白く

鶴子 中の人白くると
実白く

白のぞく 実白く

見舞 中の人白くると
実白く

梅白く

仙業 中の人白くると
実白く

新坂 中の人白くると
実白く

福忌 中の人白くると
実白く

神符 中の人白くると
実白く



乙子 中さんちを年内さん
か年たつやうく白
一八とれりつりもそは
あー実が落着きし白

宗家 中さんちを年内さん
りつりありて
の也二三つりあり

一文字 中さんちを年内さん
ちを年内さん

朝霧 中さんちを年内さん
すー葉はく

漢井 中さんちを年内さん
つりもそは

血紅 中さんちを年内さん
花先より白かやど
うすなけけー実白か
多をゆきあゆ

吉田 中さんちを年内さん
はの白くも似り
付とあー実白くり
あり白葉と云

梨子 中さんちを年内さん
えれりつりもそは
あは葉のつり梨子の切はの
こー笑出はく

人丸 中さんちを年内さん
りつりありて
実りてあけー花形は

月影 中さんちを年内さん
ちを年内さん
りつりありて

妻愛 中さんちを年内さん
あけりつりもそは
よー実あちてい葉わんよ
りつり

人丸 中さんちを年内さん
花白くつり
付も実あけ

碧山 中さんちを年内さん
つりありて
実白りそー花形は

雲井 中さんちを年内さん
りつりありて
付も実りて

四



若菜 ちんちん 花 あしひらく 白 あしひらく

梨子 白 花 あしひらく 実 あしひらく 白 あしひらく
すじ あしひらく 実 あしひらく の あしひらく 実 あしひらく 白 あしひらく
とら あしひらく 実 あしひらく の あしひらく 実 あしひらく 白 あしひらく
あしひらく

源氏若菜花

ゆふ あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく
ゆふ あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく
ゆふ あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく

紅山 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく
実 あしひらく 白 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく
実 あしひらく 白 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく
実 あしひらく 白 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく

西山 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく
花 あしひらく 白 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく

ゆふ

廣 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく
花 あしひらく 白 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく
花 あしひらく 白 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく

西落 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく
花 あしひらく 白 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく
花 あしひらく 白 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく

若山 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく
花 あしひらく 白 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく
花 あしひらく 白 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく

酔 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく

内野 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく
花 あしひらく 白 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく
花 あしひらく 白 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく

酔

紺白 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく
花 あしひらく 白 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく
花 あしひらく 白 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく

朝倉 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく
花 あしひらく 白 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく
花 あしひらく 白 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく



海 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく
花 あしひらく 白 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく
花 あしひらく 白 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく

綸 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく
花 あしひらく 白 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく
花 あしひらく 白 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく

草 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく
花 あしひらく 白 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく
花 あしひらく 白 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく

日 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく
花 あしひらく 白 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく
花 あしひらく 白 あしひらく 花 あしひらく 白 あしひらく



接白 中つんくさく花あう
つりわり実あ

紫 色あり
ちんくさくひあー

内記 中つんくさくひあう
あう実あ

花あう
中つんくさくひあう
あう実あ

花あうく光りる花の付初
あう実白ー

長崎 中つんくさくひあう
あう実あ

山口 中つんくさくひあう
あう実あ

大橋 中つんくさくひあう
あう実あ

傘太白 中つんくさくひあう
あう実あ

やうに咲く白

花あう
中つんくさくひあう
あう実あ

花あう
中つんくさくひあう
あう実あ

花あう
中つんくさくひあう
あう実あ

花あう
中つんくさくひあう
あう実あ

北地太白 花あう
中つんくさくひあう
あう実あ

花あう
中つんくさくひあう
あう実あ

花あう
中つんくさくひあう
あう実あ

花あう
中つんくさくひあう
あう実あ

花あう
中つんくさくひあう
あう実あ



真白 中つらん三つ葉の梨

花入 ちんぷん及大木に並の
かり実人の形指めて
行いある如く付すり花のほ

小泉 形如くは葉乃付あり
村産の白はあり

咲き ちんぷんを母の

家夫白 ちんぷんを母の

初霜 中つらん三つ葉の梨

文殊 ちんぷんを母の

花編 ちんぷんを母の
とくらみあり

秋木 ちんぷんを母の

紋白 中つらん三つ葉の

青い白 ちんぷんを母の

山白 ちんぷんを母の

白梅 中つらん三つ葉の

心山 中つらん三つ葉の

中つらん三つ葉の

二条 中つらん三つ葉の

坪

花 ちんぷんを母の

梅白 中つらん三つ葉の

是のく ちんぷんを母の

ひんぷんを母の

白雲 中つらん三つ葉の

中つらんさのりしゆ
少付の後のハカシ

中つらん兼ち白ま
少付のちもルやうにも

中つらんさのりしゆ
西尾よくもめりし

中つらんハカシ白
白南蛮

中つらんさのりしゆ
鶴毛

中つらんさのりしゆ
香根

中つらんさのりしゆ
城路

中つらんさのりしゆ
白鷺

中つらんさのりしゆ
白鷺

中つらんさのりしゆ
臘月

中つらんさのりしゆ
光澤

中つらんさのりしゆ
花一葉

中つらんさのりしゆ
所より

中つらんさのりしゆ
拍衣

中つらんさのりしゆ
百足

中つらんさのりしゆ
新雪

中つらんさのりしゆ
一か

中つらんさのりしゆ
清涼

中つらんさのりしゆ
白倫

中つらんさのりしゆ
茄子

わりのあり 中つもん ちんちん ちんちん
みねの あり あり あり

小野 中つもん ちんちん ちんちん
かえり あり あり あり

老々実生 中つもん ちんちん ちんちん
あり あり あり あり

白交 中つもん ちんちん ちんちん
あり あり あり あり

小野 ちんちん ちんちん ちんちん
あり あり あり あり

老々実生 中つもん ちんちん ちんちん
あり あり あり あり

白交 中つもん ちんちん ちんちん
あり あり あり あり

白交 中つもん ちんちん ちんちん
あり あり あり あり

白交 中つもん ちんちん ちんちん
あり あり あり あり

明石 中つもん ちんちん ちんちん
あり あり あり あり

唐葎 中つもん ちんちん ちんちん
あり あり あり あり

唐葎 中つもん ちんちん ちんちん
あり あり あり あり

揚子 中つもん ちんちん ちんちん
あり あり あり あり

白交 中つもん ちんちん ちんちん
あり あり あり あり

明石 中つもん ちんちん ちんちん
あり あり あり あり

唐葎 中つもん ちんちん ちんちん
あり あり あり あり

唐葎 中つもん ちんちん ちんちん
あり あり あり あり

唐葎 中つもん ちんちん ちんちん
あり あり あり あり



高白

花の白く

尾張

花の白く

浅黄

花の白く

花入

花の白く

是より牡丹のりし後

平戸

花の白く

八幡

花の白く

黄牡丹

花の白く

八幡

花の白く

紅牡丹のりし後

千染

花の白く

深井

花の白く

花の白く

花の白く

花の白く

上

下

まうらうとつらうたき舟の心て
松乃葉とつらうたき

恒風 ちとせ ちとせん八さきうすな
に花の矢あいの音野

紙よくれあいのとつらう
やうにらんあけし

後者 ちとせん八さきうすな
なごよ久大平花のり

わげてさく実あふ家
の年八はあの方

紅山 ちとせん八さきうすな
の年八はあの方

かち方より 又紅山とふ
もいめぢうかおん北斗のり
うさねらう

朝日 ちとせん八さきうすな
あふん切くくたうと

とくよそらうけし
一 ちとせん八さきうすな

唐海 ちとせん八さきうすな
あふん切くくたうと

見取 ちとせん八さきうすな
あふん切くくたうと

あふん切くくたうと
あふん切くくたうと
せん八さきうすな

上田 ちとせん八さきうすな
あふん切くくたうと

世あめて松の葉紅は
生やうすな

氏部 ちとせん八さきうすな
あふん切くくたうと

けしとわう
きむ

北斗 ちとせん八さきうすな
あふん切くくたうと

又とこれあはあつ
けしとわう

織社 ちとせん八さきうすな
あふん切くくたうと

あふん切くくたうと

妙覚 ちとせん八さきうすな
あふん切くくたうと

あふん切くくたうと

東大寺 中の人みたるは
字をたぬらふ
後名より一実黒を又を
おろつてのまゝと花の先
り又のまゝとす
は京貴

福壽 浅きより又花は
福壽のまゝりて
浅きもの

柘極 中の人みたるは
柘極のまゝりて
りりあは

そと付あり

葵 中の人みたるは
あけ中よとす
まづり名をたぬらふ
り

永井 中の人みたるは
ささふり
別て移す花形也

千貫屋 中の人みたるは
千貫屋のまゝりて
ささふり

京介記 中の人みたるは
京介記のまゝりて
りりあは

京介記 中の人みたるは
京介記のまゝりて
りりあは

外記 中の人みたるは
外記のまゝりて
りりあは

尾張外記 中の人みたるは
尾張外記のまゝりて
りりあは

千手 中の人みたるは
千手のまゝりて
りりあは

奥筋 ちりん 十のちりん
乃知あり

慶沢 ちりん 四のちりん

根岸 ちりん 四のちりん

水音 布敷 紅のちりん

唐 中 ちりん 中 芍薬の

赤坂 ちりん 又 ちりん 大 紅

並河 ちりん 八のちりん

奥列紅 倉橋紅

並河紅 秋紅

紅金 中紅

上松紅 赤紅

倉人紅

倉人紅

右のちりん 紅のちりん

はや ちりん 八のちりん

縮緬 ちりん 中 ちりん 紅のちりん

玉紋 ちりん 八のちりん

こく 花さる ちりん

櫻 ちりん 九のちりん

但 ちりん 花のちりん

水音 紅のちりん

源氏 ちりん 八のちりん

玉紋 ちりん 八のちりん

善次 大つらんをさし中

莢子 大つらんをさし中

大つらんをさし中
大つらんをさし中
大つらんをさし中
大つらんをさし中
大つらんをさし中

三階 大つらんをさし中

おまへ 大つらんをさし中

源 中つらんをさし中

莢子 中つらんをさし中

大つらんをさし中
大つらんをさし中
大つらんをさし中
大つらんをさし中

やぐ 大つらんをさし中

ひさ 大つらんをさし中

おまへ 中つらんをさし中

おまへ 中つらんをさし中

おまへ 中つらんをさし中

朱砂 中つらんをさし中

大つらんをさし中
大つらんをさし中
大つらんをさし中
大つらんをさし中

金沢 大つらんをさし中

大つらんをさし中
大つらんをさし中
大つらんをさし中
大つらんをさし中

大縮 大つらんをさし中

大つらんをさし中
大つらんをさし中
大つらんをさし中
大つらんをさし中

八深 中の人をよみとく
怒一と紅ありいと
多の志く角く乃如草
赤志は素葉あり

檜 中の人をよみとく
冬く花をよみとく
か檜あり草葉あり
花と

紅材 中の人をよみとく
花あり

赤根 中の人をよみとく
葉あり

おは鞠 中の人をよみとく
冬く花をよみとく
か檜あり草葉あり

姫路 中の人をよみとく
花あり

おは鞠 中の人をよみとく
冬く花をよみとく
か檜あり草葉あり

紅紅 中の人をよみとく
冬く花をよみとく
か檜あり草葉あり

智 中の人をよみとく
冬く花をよみとく
か檜あり草葉あり

おは鞠 中の人をよみとく
冬く花をよみとく
か檜あり草葉あり

備前 中の人をよみとく
冬く花をよみとく
か檜あり草葉あり

おは鞠 中の人をよみとく
冬く花をよみとく
か檜あり草葉あり

十六



付の光りあり草あり
但し倉橋あり光緒
あり

大輪 くりきりあり
先別あり

形あり
草あり

待教
あり

倉橋のやうの如く
あり

未坂
あり

山井
あり

山家
あり

千守
あり

西洛
あり

十七



鶴の羽 中の人三箇を色
鶴の羽 赤み牡丹のどく
かきすー白ちりめん乃
こくくに置ららぬあり
草ありー

山星 くらんぬあひのさ
山星 よく兼候

花海堂 中れあひをさ
花海堂 花形さき
りか 中らたらぬを
りか うすれあひ

あふぬ 中れあひひひ

分垣 朝に白あひひ

酒天童子 ちらん紐一尺余
酒天童子 花のさくらり
日あふぬあひくあひひ
白あひひあり

茶 ちらん紐一尺余
茶 ちらん紐一尺余
茶 ちらん紐一尺余

合板 ちらん紐一尺余
合板 ちらん紐一尺余

大板 ちらん紐一尺余
大板 ちらん紐一尺余
紐九寸をさる

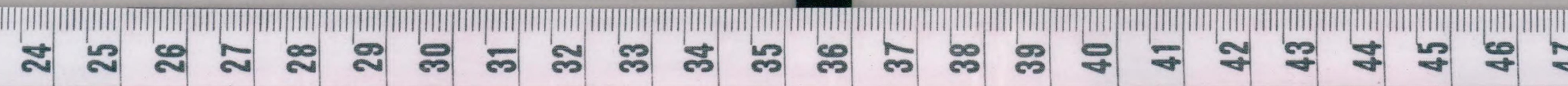
丸板 中らたらぬをさ
丸板 ちらん紐一尺余
の所えおれ付をけ
こくくに置ららぬあり
わく

渡板 ちらん紐一尺余
渡板 ちらん紐一尺余

少きすー草あひひ
少きすー草あひひ

唐草 ちらん紐一尺余
唐草 ちらん紐一尺余
あけはまこをさる
たらぬあり

伴禮 ちらん紐一尺余
伴禮 ちらん紐一尺余
形草 ちらん紐一尺余



はてしなくあわし

見物 中つらんあまのあま

縮緬 ちぢりめん
ちぢりめんあまのあま

葛城 ちぢりめんあまのあま

唐渡 ちぢりめんあまのあま

小泉 ちぢりめんあまのあま

若井 ちぢりめんあまのあま

糸橋 ちぢりめんあまのあま

緞縮緬 ちぢりめんあまのあま

胡目山 ちぢりめんあまのあま

赤松 ちぢりめんあまのあま

江村 ちぢりめんあまのあま

長生 ちぢりめんあまのあま

佐伯 ちぢりめんあまのあま

此頂 ちぢりめんあまのあま

平度 ちぢりめんあまのあま

初葉 ちぢりめんあまのあま

本禅寺 ちぢりめんあまのあま

乾多頭こやしらこいしつらたあま
わりうりのりきぬのりけ
白糸しらいとのりひのりま
のりまのりまのりま

花四郎はなよんのりあのりまのりま

白糸しらいとのりひのりま

白糸しらいとのりひのりま

白糸しらいとのりひのりま

草くさのりまのりまのりま

花はなのりまのりまのりま

行事ぎょうじのりまのりまのりま

白しろのりまのりまのりま

千ちのりまのりまのりま

昔むかしのりまのりまのりま

白しらのりまのりまのりま

ああのりまのりまのりま

老らうのりまのりまのりま

花はなのりまのりまのりま

田たのりまのりまのりま

白しらのりまのりまのりま

白しらのりまのりまのりま

花はなのりまのりまのりま

白しらのりまのりまのりま



念 うすねらるる事

念 うすねらるる事

念 うすねらるる事

念 うすねらるる事

石山 いしやま

念 うすねらるる事

栗田 くりた

緋色 ひいろ

緋色 ひいろ

朝鮮 てんせんとん

朝鮮 てんせんとん

庄 しやう

庄 しやう

庄 しやう

小町

文字指

小向山

本尊院

大村

梵天

魚縁

熊野

丸吉

ひり

廿二身

やぶ

天王

白坂

あし

虎年太

信濃

雲舟

とびか

自法

看松院

はな

あそ

うしろ

法記

所

と

東妻

新田

古門

福

春日星

何と紅牡丹のりひる終

五

後家牡丹名考

家陽三月記

○白牡丹の名

泉香寺

玉堂

清浄

八重垣

芳玉

洗心保石

母法全

び子

明月

香来山

長子

天下

大野

孫名

拾石

後石

小町

お花お首

蓑の

あさき

神乃月

二面

衣衣

西うけ

子ん子

ま様

玉照君

白波

天ノ原

神のこ

後月

鶴毛

回ノ宮

おきまぬ

妙蓮寺

小の白

唐松

市十郎

牛ノ白

芳月

神浦

心琴

令名

長柄

四二

卅

大輪	了人	終白	終白	可体	雲井	白蓮	援地
十を	馬鬼	久我	竹田	名山	あはは	田代	
夕を	孫友	夕山	孫友	石雁寺	名雁寺	名雁寺	

初夜	表松	文級	浮舟
摸雲	五郎	葛舟	垣根
冬目			

もまへ白の分

○同所紅牡丹乃多心

知首丸	初内取	熊坂	唐舟
久我	深色	太真	八入
佐与那	玉垣	閑松院	深門

七三

物陽	久保	高河	深谷
谷に縮	田代	三ヶ屋	松林院
戸田	丸髪	田中	吉田
若井	細乃	小川	末次
宇多巻	千ノ子	榎ノ戸	粟生
修井	油屋	石施	物目山
高木	血紅粉	紅	山崎
酒天	礼取	綾取	守山

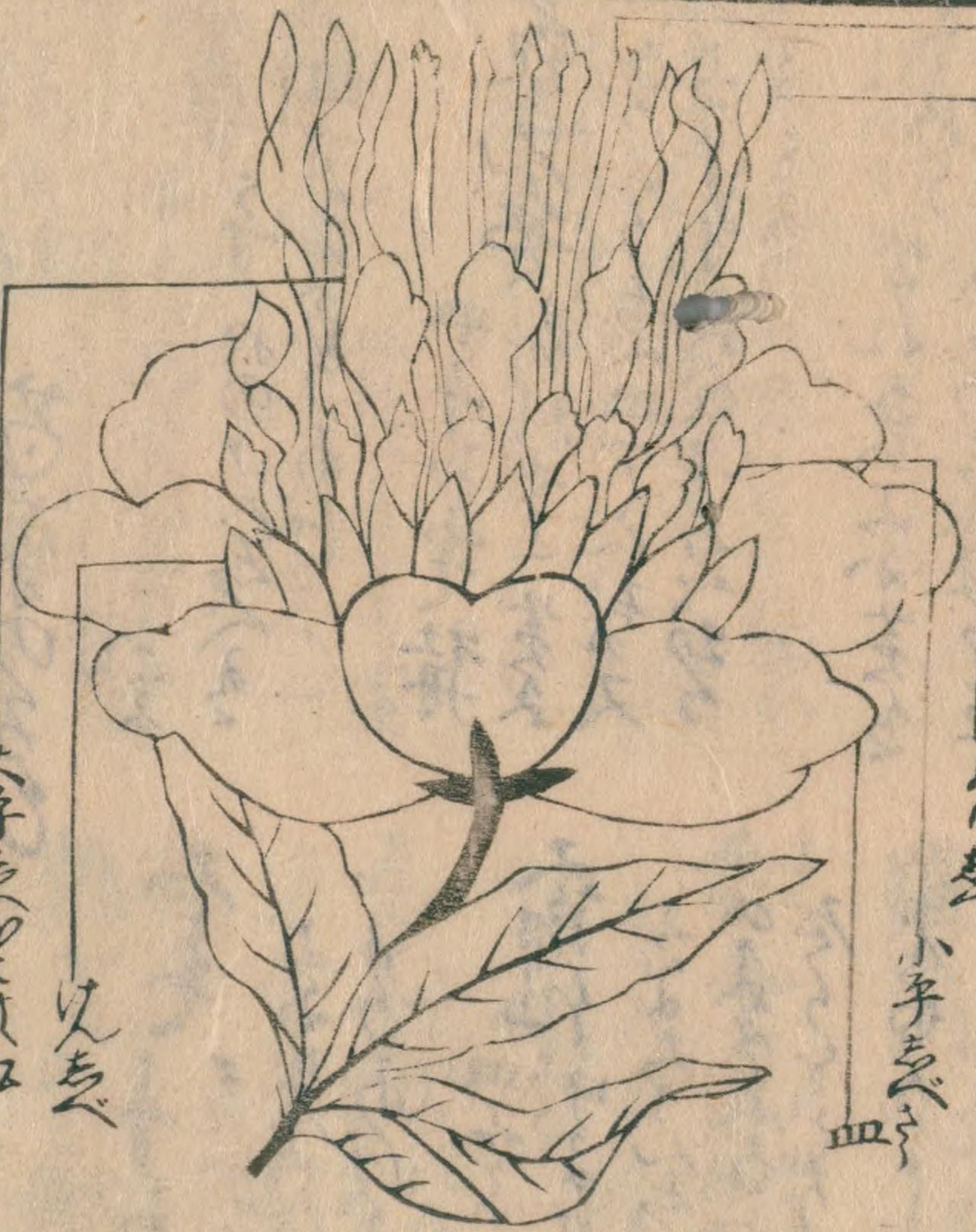
残燈	あんなれきの	西雲	とこ方
柏木	山里	無火	稻妻
信文	そらだ記	小野	冬日
冬日落石	冬日落石		

是まで執事のやうなおぼろひ終
 ぼんろくしあいの板土の調板にふわり
 ほ文字のふとらんるべー



茶花形指南

茶花の形は二階三階よりわけ茶葉より
 ままの形あり余花よきされりすて花乃
 ありと四つの中茶葉にのりく乃名あり
 茶葉細毛と云細毛よりてりてりハ
 茶葉の廣と平とどの廣しとさきと
 どの平と小平と大平と小平と大平と
 小平と大平と小平と大平と
 小平と大平と小平と大平と



大平と小平と

はと

より

小平と大平と

七五

七五

若薬のろし

小車

さうれあひあてよ
すすおのけんちん
四一のりあけ

若薬

四すおあて牡丹
若形也上
あうりあて四一のりあて
よふあてのりあて

さうれあひあてよ
すすおのりあて

若薬

さうれあひあてよ
すすおのりあて
よふあてのりあて

若薬

四すおあて牡丹
若形也上
あうりあて四一のりあて
よふあてのりあて

さうれあひあてよ
すすおのりあて

全さん江其

さうれあひあてよ
すすおのりあて

若薬

四すおあて牡丹
若形也上
あうりあて四一のりあて
よふあてのりあて

若薬

羅生

若薬

さうれあひあてよ
すすおのりあて

若薬

さうれあひあてよ
すすおのりあて

若薬

さうれあひあてよ
すすおのりあて

えんきり 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ
さき 血上りおとよろ
こ 血上りおとよろ

あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ

あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ

あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ

あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ

あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ

あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ

あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ

あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ

あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ

あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ

あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ

あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ

あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ

あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ

あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ

あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ

あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ
あつた 血上りおとよろ

ぬきまぐ 四白二平より

く 四寸一平より

い 四寸一平より

白 四寸一平より

四寸一平より

四白より

四寸一平より

四寸一平より

四寸一平より

四寸一平より

四寸一平より

四寸一平より

四寸一平より

四寸一平より

四寸一平より

四寸一平より

四寸一平より

四寸一平より

四寸一平より

四寸一平より

四寸一平より

四寸一平より

七



六十八



国立国会図書館

タイトル『増補花壇大全 6巻』 請求記号 特1-2510

ガラス使用